

平成 27 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 ラ・ポール おとくにケアサービス	代表者	米田 真澄	法人・ 事業所 の特徴	「自分で決める毎日の暮らし」を大切に、「通い」ではそれぞれの事情を鑑み、夕食を食べて帰る人や入浴を楽しみに来る人など様々です。また、服薬確認で毎日「訪問」をする人もいます。小規模ならではの小回りの利くサービス提供を心掛け、一人一人に合ったケアプランと同時に登録者全員の状況に合わせたプランを提案し、ご家族と連絡を取り合いながら、地域のマンパワーにも助けをもらいながら事業を進めています。
事業所名	ラポールおとくに 長岡京	管理者	米田 真澄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	5人	1人	1人	1人	8人	3人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所 自己評価の確認			ミーティング等を行い職員で情報を共有し、一人ひとりの意見を聞いて、反映するように心がけている。	達成可能な計画を立て、より満足してもらえるように調整をする。
B. 事業所の しつらえ・環境			事業所はいつも開放され、清潔を保つように心がけ、居心地のいい空間を作るよう努力している。	事業所の環境について事業所だけではなく、地域の人たちにも意見がもらえるようにしたほうが、客観的な意見がもらえる。
C. 事業所と地域の かかわり			地域のイベントや行事には積極的に参加している。また、地域にはよく出かけており、近隣の方にも挨拶を心掛けている。	事業所は常に開放してはいるが、まだまだ知られていない。近隣の方が「ちょっと相談に乗ってほしい」と気軽に来てもらえるようにしたい。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			天気の良い日は喫茶店や買い物、散歩に行くことがあるが、あくまでも事業所の近辺である。地域の方を招いての運営推進会議はしている。	訪問時に近隣の方と挨拶をしたり民生委員さんや利用者宅の隣の人とおしゃべりすることはある。「介護保険」という公的サービスでどこまでサービスするのかという、内部の意見をまず集約する必要がある。
E. 運営推進会議を 活かした取組み			事業所の取組みがわかりやすく説明されている。運営推進会議で出た意見を改善につないでいる。	地域との関わりについて私たち事業者が思っているほど地域の方たちはできているとは思っていない。もっと積極的に地域にでる。
F. 事業所の 防災・災害対策			事業所の火災訓練は年2回あるが風水害・地震等の訓練や話し合いはできていない。防災計画は知らない。地域の防災訓練に参加していない。	防災・災害について事業所内で話し合いをし、意識付けをすべきだ。映像を観、上記のシュミレーションをし、話し合いを重ねてはどうか。職員への周知。